

「ポリフォニー Bild/画 うまれるとき」

11月9日(日) → 24日(月) 会場：吉川英治記念館

ワークショップIで母袋俊也を中心とした6人の東京造形大学のコアメンバーが、それぞれのテーマに沿った絵画作品のポリフォニック-多声音楽的-な展示を試みた。ワークショップIと合わせて構成され、目の前にある森や川といった地形が、見るものの眼差しを介したフレームにより“風景”として切り取られる瞬間から「絵画」の起源を考える。

アートプログラム青梅2008の関連企画展として開催された。

出品者：母袋俊也、清水鮎美、松本菜々、森智沙帆、山根一晃、横山大河



1



2



3



4



5



6

1. 松本菜々 《シノワズリー》2008年 キャンバス、油彩 130.3x162cm
2. 森智沙帆 《untitled》2008年 キャンバス、油彩 227x180.3cm
3. 山根一晃 《on/off》2008年 キャンバス、油彩 130.3x162cm
4. 母袋俊也 手前 《絵画のための見晴らし小屋 YOSHIKAWA-Kaede》
2007年 木材 182.5x94.5x93cm (窓2・のぞき窓2)
壁上 《M372 YOSHIKAWA-Kaede 1》下 《M373 YOSHIKAWA-Kaede 2》
各/2007年 アクリル、油彩、綿布 45.5x38cm
5. 横山大河 《fog》2008年 色鉛筆、透明水彩、クレヨン 112x145.5cm 14x18cm
6. 清水鮎美 《Image》《Image 2》各/2008年 キャンバス、油彩 130.3x97cm